

社 協 だ よ り

No. 68

発行責任者： 人來田学区社会福祉協議会会長 小本 一次

9月度・10月度人來田学区社会福祉協議会福祉委員会開催報告

9月22日（金）南ニュータウンコミセンにおいて、市社会福祉協議会太白事務所から、志田茉生さんと嘉藤静さんを講師として、福祉委員の活動について講話を頂き、実際の福祉委員の活動について各人より発言して頂きました。活動2年目の方、今年から活動される方で動きが当然ちがっていました。初めての方には、前任者との引継ぎがなく近隣の方の見守りで活動したようでした。民生委員と同じ様に福祉委員も各町内で担当エリアが決まっています。一部の福祉委員から9月までの活動について報告して頂きました。残りの福祉委員からの報告で前半の活動がわかり、後半に繋げて行きたいと思います。



10月20日（木）南ニュータウンコミセンにおいて、山田地域包括支援センター社会福祉士の星 孝幸氏に講師をお願いして、地域包括支援センターの役割と地区社協の福祉委員の関り、そして施設入所を考えている方に介護保険を活用して利用料金等の話をしていただきました。見守り・安否確認の際に住民から質問されたときには、話を聞き地域包括支援センターに繋ぐことが福祉委員の役割になります。10月以降今年度後半の活動になりますが、各町内エリアごとに福祉委員が担当しており、また、各町内の役員さんが兼務していることで、住民方々がご存知と思いますので、民生委員同様に気軽に声をかけ聞きたい事があればお尋ねください。

令和5年度社会福祉協議会会費納入について

令和5年度社会福祉協議会会費を各町内より納入して頂きました。会費は各家庭から300円を町内会を通して人來田学区社会福祉協議会に納入され、その金額を仙台市社会福祉協議会に納入して、納入額の半分を地域の社会福祉協議会に活動費として援助されています。

各町内別では 南ニュータウン 760戸、日本平 750戸、羽黒台 430戸、萩の台 190戸、望洋台 63戸 合計 2193戸 総額 657900円を市社協に納めました。地区社協は、住民の皆様からの活動費ですので、住民の為に無駄のないよう活用をしてまいります。ご協力ありがとうございました。

人來田学区社協移動研修

さる11月9日人來田学区社協の福祉委員12名で、東日本大震災遺構の大川小学校・門脇小学校を視察してきました。早、12年が過ぎ13年を迎えようとしています、当時の状況を語り部から聞き、自然災害の恐ろしさは、計り知れないものとおもいました。

ただ、両震災遺構の伝承館の作りに大きな差があるように感じました。ひとつは、遺構の保存方法に門脇小は目の前を広い公園に整備され、建物も中はそのままだが外回りは綺麗に見えました。大川小では、亡くなった生徒の家族や語り部ががれきを片付け、掃除をしたと聞き、対応に大きな差があり、校舎の柱の鉄筋が曲がったり、切れたりしたまま倒れていました。両小学校共に裏に山があり、方や山に避難できたにも関わらず、大川小学校では生徒と先生が津波にのまれた真相について裁判等で明らかになっている内容にかなり疑問が残り、語り部の親は納得していないと話していた。それは生き残った先生の証言と生徒の証言が食い違っていたにもかかわらず、生徒は子供だからとカットされた話をきいて、この惨事を葬り去ろうという意図が感じられたのは私だけではないと感じました。

大川小学校では避難マニュアルを作成していたが訓練をせずに、認識不足の指導者により起きた人災という思いを強く感じました。それを作り上げたのはメディア・市・県の対応で、住民の言葉や生き残った生徒の証言を無視する人がいたことに、憤りを感じた移動研修でした。

(活動推進員代行 及川 和典)



大川小1-2年生教室前



大川小震災伝承館内



大川小シイタケ栽培裏山



日如山神社鳥居前参加者

編集後記

夏の暑い日が急激に秋になり、短い秋が過ぎていつもの気温の低い時期に変化してきました。コロナが静かになったと思えば、インフルエンザの感染が増えてきて、学校の休校のニュースがテレビ新聞に出ています。それに自然界では、あっという間に紅葉も落ち葉となり、冬を迎えてツキノワグマの出没が多くけがをされている方もいるようです。太白山の周囲でも毎年出てきます。朝夕の散歩には十分注意して歩きましょう。もうすぐ正月です。良いお年をお迎えください。